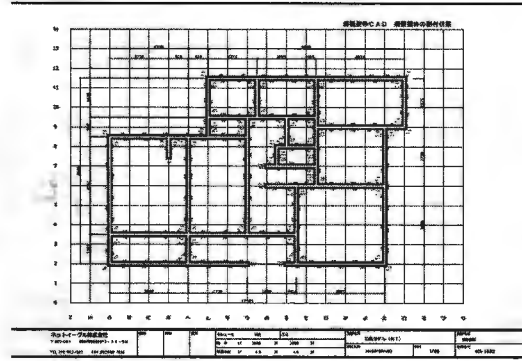
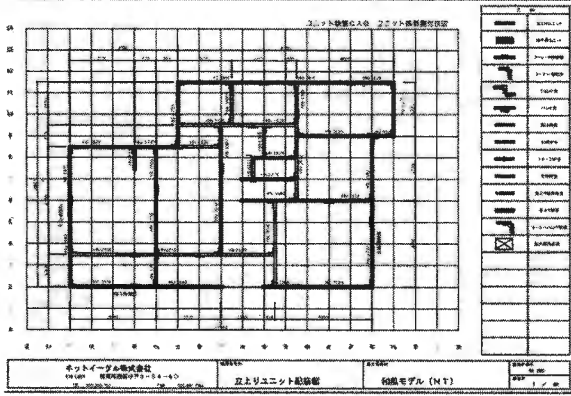


ユニット鉄筋、鋼製型枠に対応

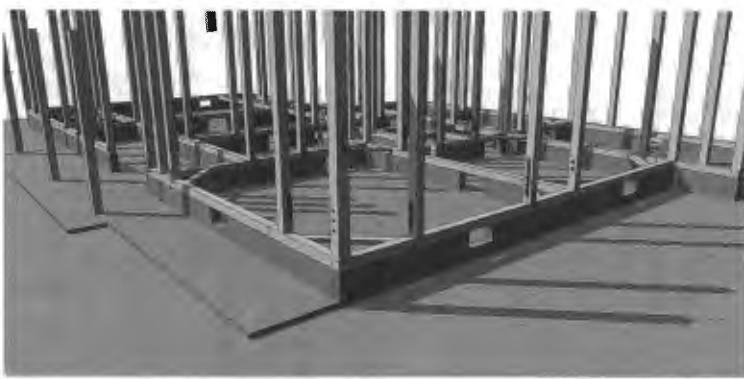
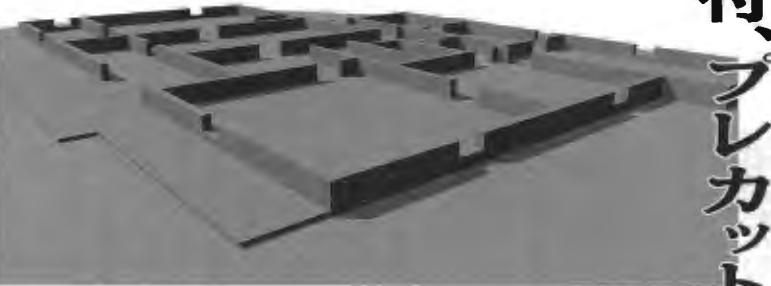


鋼製型枠の割付伏図



ユニット鉄筋の割付伏図

基礎伏図から割付、プレカットが一体的に



ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は住宅の基礎伏図からユニット鉄筋や鋼製型枠を自動で割り付けられるCADの普及に力を入れている。職人不足を背景にユニット鉄筋や鋼製型枠を活用する住宅会社は増えてきたが、一般的には職人による手拾い、手組みがほとんどで、工事の遅れの要因にもなっている。現場作業を省力化できるユニット鉄筋や鋼製型枠は今後ますます普及が見込まれ、CADデータから自動で拾えれば一段と合理化も進む。同社ではプレカットの競争力にもつながるアイテムとして提案を強化している。

ネットイーグル

職人不足のなかでも基礎工事に携わる型枠工や鉄筋工は特に不足感が強く、数年来、プレカット工場でも基礎工事の遅れから加工が先送りになる物件が増えている。「2020年の東京五輪に向けた建設需要、その後も活発な再開発で人手不足は続き、事前に工場で溶接加工するユニット鉄筋や仕上げ品質が安定する鋼製型枠のニーズはますます高まると予想される」（祖父江社長）。

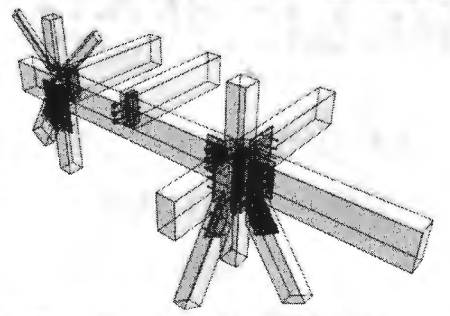
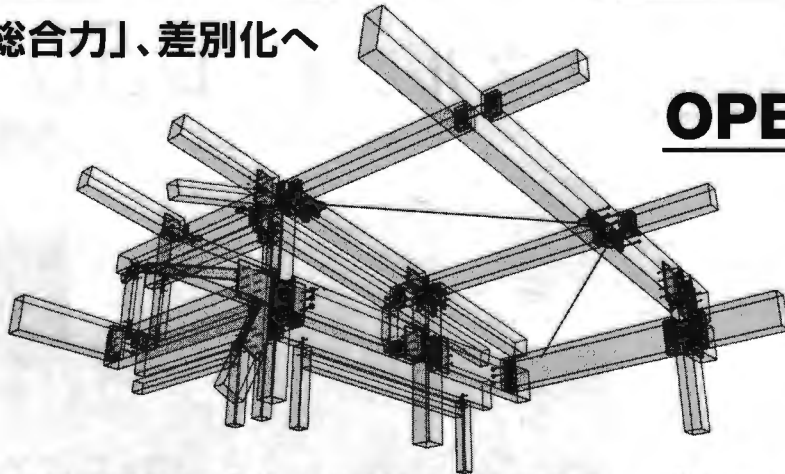
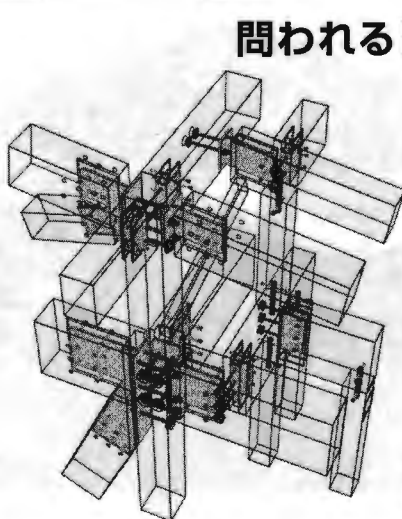
「従来はアンカーボルトとホールダウン金物の位置がずれたり、アンカーと土台の継ぎ計算ならスパン表にない積雪量で、50kgを超える多雪地域では適用できない。許容応力度計算ならスパン表にない積雪

地域でも積雪量に応じた荷重で基礎強度を計算できる。ソフトは構造プレカットCAD「XSTARR」上で動作し、構造躯体の荷重から基礎の許容応力度を算出できる。配筋が弱いとエラー表示され、必要な耐力を満たせばエラーが消える仕組み。基礎のタイプごとに梁せいや主筋の径がデータベース化されており、タイプを選択するだけで強度を変えられる。検査機関からの質疑に配慮し、計算式は短期荷重まですべて出力されるのも特徴。「羽柄材や合板、サイディングのプレカットと同様に、基礎工事も構造データを最大限に活用することがミスをなくし、無駄を省き、施工を合理化するカギになる。基礎工事の遅れをなくすればプレカット工場の生産性も上がり、競争力が高まる。プレカット工場が基礎まで一体的に関与できれば、建て方への進出もしやすい」（同）。

問われる「総合力」、差別化へ

非住宅・大断面对応 プレカットCAD

OPEN-NET XF15



木材利用促進法で木造大型建築物は成長分野へ 業界初のプレカットCAD/CAM!

NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
<http://www.neteagle.co.jp>

本社
〒819-0001
福岡市西区小戸
3-54-50
050-3536-5961

中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町
朝日165 ナガタニビル3階
050-3538-0221

新東京CADセンター
〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-4
オアーゼネクス芝浦5階
050-3533-2894